

平成29年度「ANNE」ブッククラブ絵本リスト 2才～3才



4
くいしんぼうのあおむしは、毎日もりもりと何でも食べつづけ?。数や曜日の認識をおりこみ、穴あきのしかけをこらした斬新な絵本。

借成社



8
一日の始まりは、生活の中でも大切なもの。当たり前のことを当たり前に行う14匹の生活ぶりは、何気ない日々の営みの尊さを再度思い起こさせてくれます。

童心社



エヴゲーニイ・ラチョーフ寒い冬の森の中、キーキーねずみはてぶくろを片方見つけた。「わたし、ここに住もうっと!」すると、次から次へと動物たちが現れて…

福音館書店

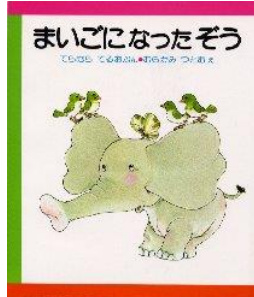
ちょっとおおきすぎて困ることもあるけれど、ブランコや電車ごっこ、それにもっとすごいこともできる吊りズボン。アイデア秀逸の絵本。

借成社



5
絵の具で描かれた青や黄色のまるが生き生きと動きまわり、絵本ならではの夢と感動をもたらしてくれる。作者が孫のために作ったという人間愛あふれる絵本。

至光社

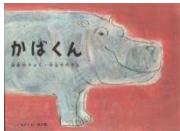


9
まいごになった赤ちゃん象が、動物たちの助力でお母さん象にめぐりあえます。動物たちの表情が豊かに描かれた楽しい絵本です。

借成社



1
おばあちゃんからのお誘いの電話で、ひとりでおばあちゃんの家へでかけることになったぼく。おばあちゃんの家へ着くために守ることは、「まっすぐまっすぐ行くこと」ペンギン社



動物園のかばの一日を簡潔なことばと美しい絵で描いた絵本。絵本ははじめてという幼い子どもたちに最適です。欧米でも翻訳出版され高い評価を受けています。

福音館書店

子どもにとって興味のある、そして大事な「うんち」をユーモアいっぱいの絵本にしました。「いきものはたべるから、みんなうんちをするんだね」というお話。

福音館書店



紙のぼうしをかぶり、おもちゃのラップをもったぼくは、森で動物たちといっしょにあそびます……。幼児の心の世界を黒いコンテで鮮やかに描いた絵本の傑作。福音館書店

動物園でおなじみのきりんを、まちかで撮影した写真絵本。モノクロ写真をじっくり見ていると、からだのあみめの模様がそれぞれ違うこと、下を向いているかわいい目・

福音館書店



2
雪深い森の中、冬眠から突然さめ、はなをくんくんさせて駆けていく動物たち。やわらかいタッチの美しい絵と詩のような文で、自然の摂理と喜びを無理なく子どもに語りかける名作。

福音館書店



アメリカで最も人気のある作家の一人で、日本でも『ひとまねござる』などで知られているH・A・レイさんの傑作絵本です。各ページごとに折返しがついていて、折返しをひらくと、子どもの心をとらえる楽しい驚きが用意されています。子どもが自分で何回もひらいてみずにはいられない本です。

文化出版局



サンタさんを待ちきれなくなって外に出て行ったれいちゃんは、森から出て来たサンタクロースに会って、……。



かすみちゃんは、クリスマスのケーキに飾るいちごを探しに行き、うさぎの家を見つけました。



なかなか仕度をしないもっくんをおいてみんながパーティーに出かけると…。

福音館書店



3
ジャングルで生まれた小さな赤ちゃんゴリラ、ちびちびは、おばあさんにもおじいさんにも、お母さんにもお父さんにも、ジャングルのほかの動物たちからも愛されます…。

ほるぷ出版

平成29年度「ANNE」ブッククラブ絵本リスト

3才～4才



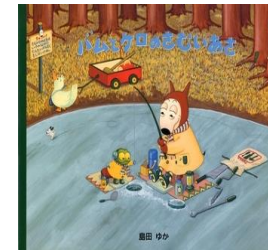
うさぎさんがワンピースを作りました。それを着てお花畑を散歩すると、ワンピースが花模様になる。次々変わるワンピースの模様。日本を代表するファンタジー絵本です。

こぐま社



野原にとびだした女の子と、バツタやカエルなどの小さな動物との交流を、このうえなくあたたかくうたいあげた絵本。生きとし生けるものが共感しあえる世界を、静かに語りかけています。

福音館



犬のパムとかえるのケロちゃんのおはなし。はなが凍りそうな火曜日の寒い朝、こんな日は池も凍っているはず。そこで見つけたのは、池と一緒に凍っているあひるのかいちゃん。

文溪堂



くまさんは、パンやパイやお誕生日のパーティーのケーキを作り、車に積んで出かけます。ガラン、ガラン景気よくかねを鳴らすと、みんな買いにやってきます。福音館書店



姿を自由に変形できるおばけのバーバパパは火事場で大活躍し、町の人気者になります。世界各国で愛読された軽妙な傑作絵本。

借成社



りすとかくれんぼをしたり、かえるととびくらべをしたり、森のおくに住むこびとの家族の春から冬までの生活を、やわらかいタッチで描いた魅力的な絵本。

福音館書店



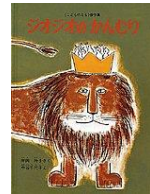
だれでも持っている「こうなったらいいな」という願い。そんな願いをかなえてくれる絵本です。長い髪、そして、一人前の女性として扱われること……。鉛筆画風のタッチがしゃれています。



ゆうじが自分の模型飛行機ととりかえた空色のたねをまくと、空色の家はえてきました。「ぐりとぐら」のコンビによってつくられたとびきり楽しい絵本。福音館書店

ジオジオはライオンの王様です。でも、ひとりぼっちでした。そこへ……。年老いたライオンと小鳥との心の交流を、やさしく語りかける文章と、明るい色彩の絵で描いた絵本です。

福音館書店



カバの子ヒッポは、母さんカバから厳しい言葉の特訓をうけます。力強く美しい木版画の絵本。

借成社



黒いぶちのある白いぬのハリーは、おふろが大きらい。体を洗うブラシをかくして遊びに逃げだします。軽快なタッチの絵と文が、子どもたちにハリーへの共感の声をあげさせます。

福音館書店



ガンピーさんが小舟に乗って出かけます。途中で子どもたちがやってきて「いっしょにつれてって」と言いました。ガンピーさんは「けんかさえしなけりやね」と言って乗せてあげます。そして……

ほるぷ出版



食べる物がない雪のある日。1つのかぶが、うさぎからろばへ、ろばからやぎへと、友達への思いやりの心をのせて届けられていきます。ぐるぐる話の傑作です。

六人の地蔵さんが恩返しをするおなじみの昔話絵本。日本の伝統の和紙と扇面を生かした見事な画面と、老夫婦のあたたかい愛情を伝える語り口で、昔話絵本の傑作と定評があります。

福音館書店



こぶたはどろんこが大好き。ズブズブとどろんこに沈んでいくときの、こぶたのうれしさがこちらにも伝わり、子どもたちの共感を呼びます。

文化出版

ながい鼻とかうちわとか、てんぐちゃんを持っているものを何でも欲しがらるまちゃんの物語を、親しみやすい絵で語ってゆく、ユーモアあふれる絵本。

福音館書店

